

目次

| | | | | | |
|-----|--------------------------|------|------|-----------------------|-------|
| A-1 | ボタンの基本的な操作 | 4 | E-6 | コンパスモード：磁気偏差について | 26 |
| A-2 | センサー機能について | 5 | E-7 | コンパスモード：磁気偏差の計算方法 | 27 |
| A-3 | 基本機能について | 6 | E-8 | コンパスモード：コンパスの設定方法 | 28 |
| A-4 | 各機能の切り替え | 7 | E-9 | コンパスモード：キャリブレーションの設定 | 29 |
| B-1 | 時刻モード：画面の確認 | 8 | E-10 | コンパスモード：ディクリネーションの設定 | 30 |
| B-2 | 時刻モード：設定方法 | 9,10 | F-1 | アラームモード：画面の確認 | 31 |
| C-1 | 高度計モード：画面の確認 | 11 | F-2 | アラームモード：設定方法 | 32 |
| C-2 | 高度計モード：設定方法 | 12 | G-1 | クロノグラフモード：画面の確認 | 33 |
| C-3 | 高度計モード：高度ゼロの設定 | 13 | G-2 | クロノグラフモード：ラップタイムの計測 | 34 |
| C-4 | 高度計モード：絶対高度の設定 | 14 | H-1 | タイマーモード：画面の確認 | 35 |
| C-5 | 高度計モード：海面気圧の設定 | 15 | H-2 | タイマーモード：ユーザー設定の方法 | 36 |
| C-6 | 高度計モード：デフォルトの設定 | 16 | I-1 | ペースメーカーモード：画面の確認 | 37 |
| D-1 | 気圧計モード：画面の確認 | 17 | I-2 | ペースメーカーモード：設定方法 | 38 |
| D-2 | 気圧計モード：設定方法 | 18 | I-3 | ペースメーカーモード：クロノグラフとの連動 | 39 |
| D-3 | 気圧計モード：絶対気圧の設定 | 19 | J-1 | デュアルタイムモード：画面の確認 | 40 |
| D-4 | 気圧計モード：デフォルトの設定 | 20 | K-1 | パワーセーブ機能について | 41 |
| E-1 | コンパスモード：画面の確認 | 21 | | 保証書 | 42,43 |
| E-2 | コンパスモード：使用上の注意 | 22 | | | |
| E-3 | コンパスモード：方位と方角 | 23 | | | |
| E-4 | コンパスモード：バックベアリングとコンパスロック | 24 | | | |
| E-5 | コンパスモード：コンパスの使用 | 25 | | | |

A-1 ボタンの基本的な操作

■機能と概要



A ボタン

- ・高度計 / 気圧計 / コンパスの切り替え

B ボタン

- ・バックライトの点灯

C ボタン

- ・モードの切り替え
- ・設定画面中、次の項目へ移動
- ・各モードで設定画面へ移行

D ボタン

- ・設定画面中、数字の加算
- ・計測のスタート / ストップ (クロノグラフ、タイマー)

E ボタン

- ・設定画面中、数字の減算
- ・計測のリセット (クロノグラフ、タイマー)

A-2 センサー機能について

■センサー機能と基本機能

この腕時計には時刻モードのほかにも、3つのセンサー機能と5つの基本機能 (詳細はP 6)、合計9つのモードがあります。

時刻モード (P 8 ~)

画面中央に現在時刻が表示されます。



【センサー機能】

センサー機能は A ボタンを押すたびに、下記の順番で切り替わります。

高度計モード (P 11 ~)

画面左下に「ALTI」と表示されます。
現在地の高度の測定ができます。
過去 23 時間の履歴が確認できます。



気圧モード (P 17 ~)

画面下部に「BARO」と表示されます。
現在地の気圧の測定ができます。
過去 23 時間の履歴が確認できます。



コンパスモード (P 21 ~)

画面右下に「COMP」と表示されます。
方位、方角の測定ができます。



A-3 基本機能について

【基本機能】

基本機能はCボタンを押すたびに、下記の順番で切り替わります。

アラームモード (P31～)

画面上部に「AL1」もしくは「AL2」と表示されます。

2つのアラームが使用できます。



クロノグラフモード (P33～)

画面上部に「CHR」と表示されます。

1/100クロノグラフが使用できます。



タイマーモード (P35～)

画面上部に「TMR」と表示されます。

タイマーが使用できます。



ペースメーカーモード (P37～)

画面上部に「PACER」と表示されます。

ペースメーカーが使用できます。



デュアルタイムモード (P40～)

画面上部に「T2」と表示されます。

現在地とは別の都市の時間の確認ができます。

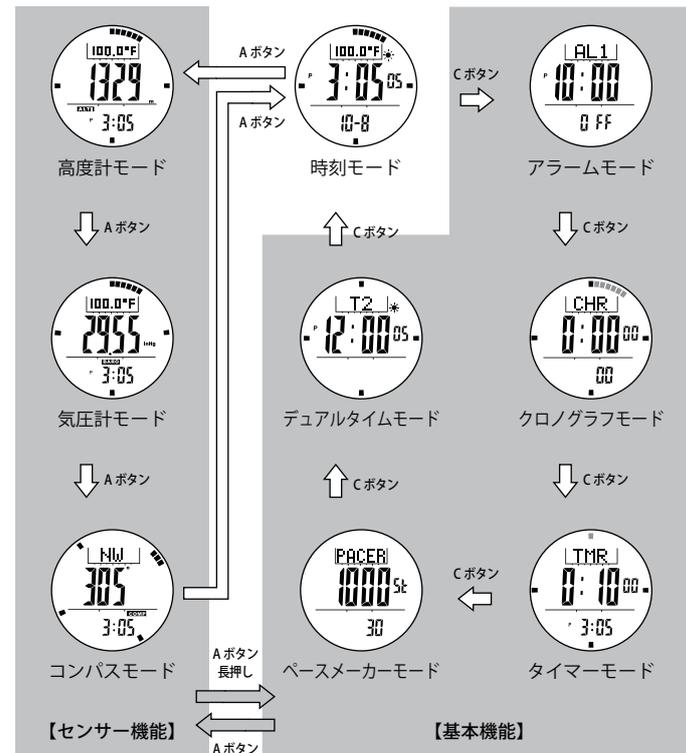


A-4 各機能の切り替え

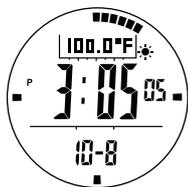
■機能の切り替え

基本機能のどのモードからでも、Aボタンを押すとセンサー機能へ移ります。

センサー機能のどのモードからでも、Aボタンを長押しすると基本機能へ移ります。



B-1 時刻モード：画面の確認



■画面説明

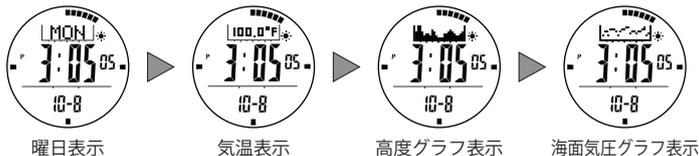
上段：曜日、気温、高度グラフ、
海面気圧グラフ、天気予測

中段：現在時刻

下段：日付

■画面の切り替え

画面上部の表示は、Dボタンを押すたびに、下記の順番で切り替わります。
Dボタンを長押しすると、連続して表示が切り替わります。



曜日表示

気温表示

高度グラフ表示

海面気圧グラフ表示

■天気予測機能

時刻モードでは、画面右上に4種類の天気予測アイコンが表示されます。



天気予測アイコン

※現在の天気を表示するものではありません。

※気圧をもとに予測を行うため、高度が異なる場所を短時間で移動した場合、正確に予測できない可能性があります。

※短時間内での天気の劇的な変化を反映する機能はありません。

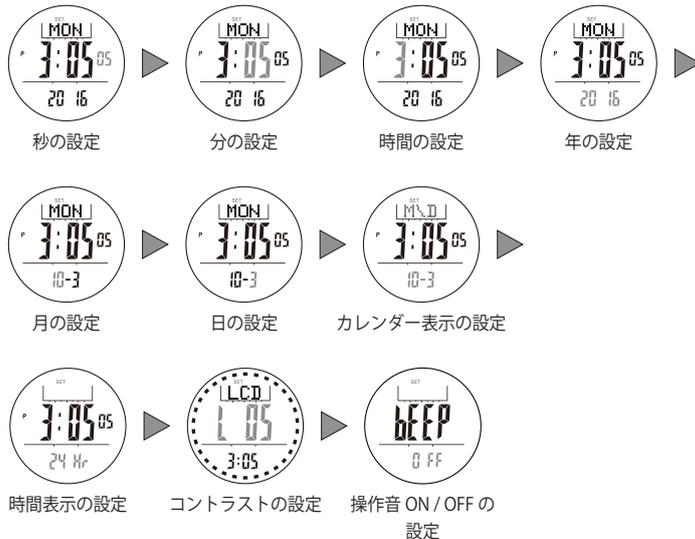
B-2 時刻モード：設定方法

■時刻設定方法

時刻モードでCボタンを長押しすると画面右下に「HOLD」が点滅し、時刻設定画面に移ります。

Dボタンを押すと数値が加算、Eボタンを押すと減算します。ボタンを長押しすると、数値を早く進めることができます。

Cボタンを押すたびに、下記の順番で項目が切り替わります。



秒の設定

分の設定

時間の設定

年の設定

月の設定

日の設定

カレンダー表示の設定

時間表示の設定

コントラストの設定

操作音 ON / OFF の設定

全ての設定が終了した後、Cボタンを長押しすると、時刻モードに戻ります。

B-2 時刻モード：設定方法

■コントラストの設定（画面の調整）

コントラストの設定では、自分の見やすいように画面の明るさを変えることができます。

Dボタンを押すとコントラストが薄く、Eボタンを押すと濃くなります。



コントラストの設定

※秒の設定では、DボタンもしくはEボタンを押すと、秒数が00秒にリセットされます。

※カレンダー表示では月/日 (M/D) か日/月 (D/M) を設定できます。

DボタンもしくはEボタンを押すたびに、項目が切り替わります。

※時刻表示では12時間表示 (12Hr) か24時間表示 (24Hr) を設定できます。

DボタンもしくはEボタンを押すたびに、項目が切り替わります。

※操作音 ON/OFF の設定ではDボタンもしくはEボタンを押すたびに、項目が切り替わります。

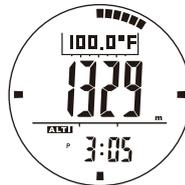
C-1 高度計モード：画面の確認

■画面説明

上段：気温、高度グラフ

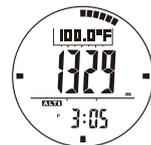
中段：高度

下段：現在時刻



■画面の切り替え

Dボタンを押すと画面上部の気温表示、高度グラフ表示を切り替えることができます。



気温表示



高度グラフ表示

■気温表示について

画面上部に現在の気温が摂氏 (°C) もしくは華氏 (°F) で表示されます。

※ 正確な気温を測りたい場合は、腕時計を腕から外して下さい。

■履歴表示について

高度グラフ表示中にEボタンを押すと、過去23時間の高度を確認できます。

画面下部にデータ記録時間、画面中央に記録時の高度が表示されます。

Eボタンを押すたびに、1時間単位で履歴をさかのぼることができます。

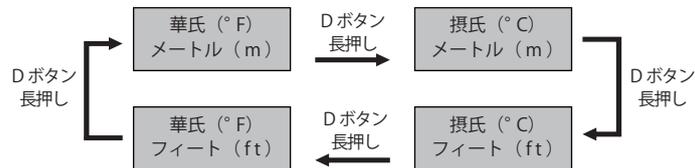
Dボタンを押すと高度計モードに戻ります。



C-2 高度計モード：設定方法

■単位の設定方法

高度計モード中にDボタンを長押しすると、高度、気温の単位を切り替えることができます(メートルかフィート、摂氏(°C)が華氏(°F))。



■高度と海面気圧の設定方法

高度計モードでは高度ゼロ、絶対高度、海面気圧、デフォルト(初期化)の設定ができます。

高度計モードでCボタンを長押しすると画面右下に「HOLD」が点滅し、高度計設定画面に移ります。

Cボタンを押すたびに、下記の順番で項目が切り替わります。



Cボタンを長押しすると高度計モードに戻ります。

C-3 高度計モード：高度ゼロの設定

■高度ゼロの設定

高度ゼロを設定することで、相対高度の測定を行うことができます。

例えば登山の際、スタート地点で高度を「0」に設定しておけば、どれだけの高度を上昇もしくは下降したかを測定することができます。

■設定方法

高度計モードでCボタンを長押しすると画面右下に「HOLD」が点滅し、設定画面に移ります。

画面上部に「ZERO」と表示されているか確認してください。

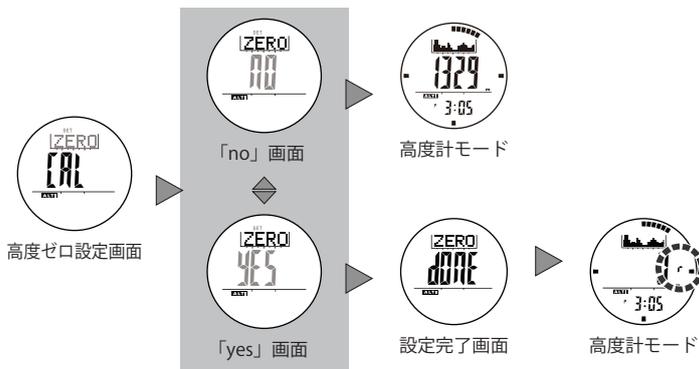
Dボタンを押すと、画面に「no」と表示されます。

DボタンもしくはEボタンを押すと、「yes」(高度を0にリセットする)または「no」(リセットを中止する)の選択ができます。

高度ゼロに設定をする場合、「yes」を選択して下さい。

Cボタンを長押しすると「dDONE」という文字が表示され設定が完了し、高度計モードに戻ります。

※高度ゼロの設定で「yes」を選択すると、画面に「r」が表示されます。絶対高度や海面気圧を設定し直すと「r」は消え、元の表示に戻ります。



C-4 高度計モード：絶対高度の設定

■絶対高度の設定

絶対高度の設定では、現在地の高度の設定をします。
高度は気圧から計測しているため、気圧が変わると高度が変わります。
より正確な計測をするために、絶対高度を時々設定する必要があります。

※高度計の設定は高度が判明している場所で行ってください（例：海拔
0m 地点や海拔高度が分かる場所など）。

※間違った高度の値を入力すると、後の計測値に大きく影響します。

■設定方法

高度計モードでCボタンを長押しすると画面右下に「HOLD」が点滅し、
設定画面に移ります。

画面上部に「ZERO」と表示されているのを確認して下さい。

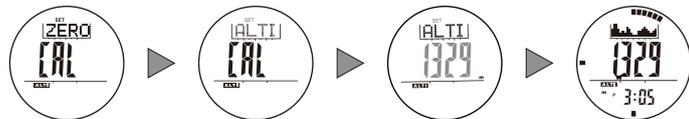
Cボタンを1回押し、画面上部に「ALTI」と表示された状態にします。

Dボタンを1回押しと、設定されている高度が表示されます。

Dボタンを押すと数値が加算、Eボタンを押すと減算します。ボタンを
長押しすると、数値を早く進めることができます。

数値を基準点の高度に設定して下さい。

設定が終了した後、Cボタンを長押しすると、高度計モードに戻ります。



高度ゼロ設定画面

絶対高度設定画面

高度入力画面

高度計モード

C-5 高度計モード：海面気圧の設定

■海面気圧の設定

海面気圧の設定では、気象庁のサイトなどから得られる具体的な海面気
圧を入力します。

参考 HP：http://www.jma.go.jp/jp/amedas_h/index.html

高度は平均的な海面気圧から計測されています。

より正確な高度の計測をするために、海面気圧を時々更新する必要があ
ります。

■設定方法

高度計モードでCボタンを長押しすると画面右下に「HOLD」が点滅し、
設定画面に移ります。

画面上部に「ZERO」と表示されているのを確認して下さい。

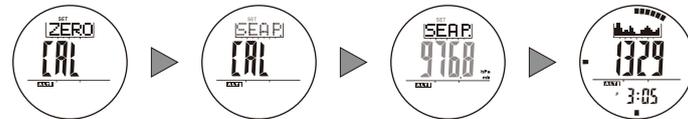
Cボタンを2回押し、画面上部に「SEAP」と表示された状態にします。

Dボタンを1回押しと、設定されている海面気圧が表示されます。

Dボタンを押すと数値が加算、Eボタンを押すと減算します。ボタンを
長押しすると、数値を早く進めることができます。

数値を現在の海面気圧に設定して下さい。

設定が終了した後、Cボタンを長押しすると、高度計モードに戻ります。



高度ゼロ設定画面

海面気圧設定画面

気圧入力画面

高度計モード

C-6 高度計モード：デフォルトの設定

■高度計の初期化

高度計をデフォルト状態にリセットする（初期化する）ことができます。デフォルトの状態では、海面気圧が 1013.2hPa に設定されています。

■高度計の初期化方法

高度計モードでCボタンを長押しすると画面右下に「HOLD」が点滅し、その後設定画面に移ります。

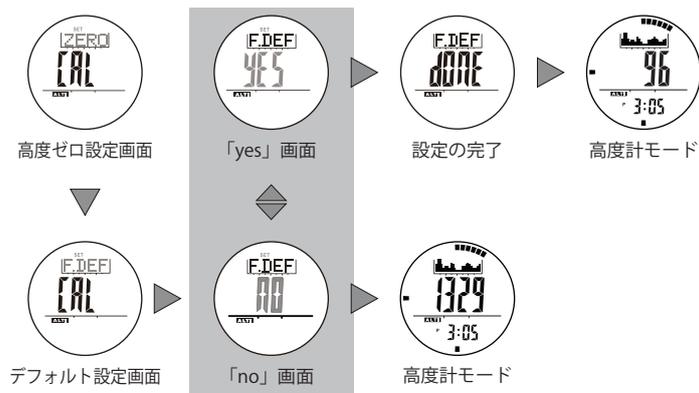
画面上部に「ZERO」と表示されているか確認してください。

Cボタンを3回押し、画面上部に「F.DEF」と表示された状態にします。

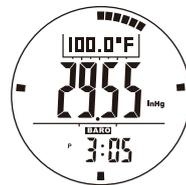
Dボタンを押すと、画面に「no」と表示されます。

DボタンもしくはEボタンを押すと、「yes」（高度計をデフォルトの状態にリセットする）または「no」（リセットを中止する）の選択ができます。高度計を初期化する場合、「yes」を選択して下さい。

「yes」を選択した状態でCボタンを長押しすると、設定が完了します。「dONE」という文字が表示され、高度計モードに戻ります。



D-1 気圧計モード：画面の確認



■画面説明

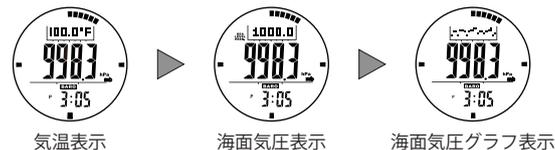
上段：気温、海面気圧、海面気圧グラフ

中段：気圧

下段：現在時刻

■画面の切り替え

画面上部の表示は、Dボタンを押すたびに下記の順番で切り替わります。



※正確な気温を測りたい場合は、腕時計を腕から外して下さい。

■海面気圧履歴について

この腕時計は過去 23 時間の海面気圧を記録することができます。海面気圧グラフ表示中にEボタンを押すと、履歴を確認できます。初めに画面下部に、データ記録時間が点滅表示されます。

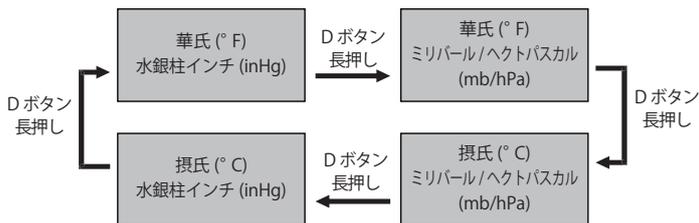
Eボタンを押すたびに、1時間単位で履歴をさかのぼることができます。Dボタンを押すと気圧計モードに戻ります。



D-2 気圧計モード：設定方法

■単位の設定方法

気圧計モード中に D ボタンを長押しすると、気圧、気温の単位を切り替えができます（水銀柱インチかミリバールヘクトパスカル、摂氏（°C）か華氏（°F））。



■気圧の設定方法

気圧計モードでは絶対気圧、デフォルト（初期化）の設定ができます。気圧計モードで C ボタンを長押しすると画面右下に「HOLD」が点滅し、気圧計設定画面に移ります。

C ボタンを押すたびに、下記の順番で項目が切り替わります。



C ボタンを長押しすると気圧計モードに戻ります。

気圧の設定は通常は必要ありませんが、本格的な使用をする場合は設定することをオススメします。

D-3 気圧計モード：絶対気圧の設定

■絶対気圧の設定

絶対気圧の設定では、現在地の気圧の設定をします。

より正確な計測をするために、絶対気圧を時々設定する必要があります。

※気圧計の設定は気圧が判明している場所で行ってください。

※間違った気圧の値を入力すると、後の計測値に大きく影響します。

■設定方法

気圧計モードで C ボタン長押しすると画面右下に「HOLD」が点滅し、気圧計設定画面に移ります。

画面上部に「AIRP」と表示されているのを確認して下さい。

D ボタンを 1 回押しすと、設定されている気圧が表示されます。

D ボタンを押すと数値が加算、E ボタンを押すと減算します。ボタンを長押しすると、数値を早く進めることができます。

数値を基準点の気圧に設定して下さい。

設定が終了した後、C ボタンを長押しすると、気圧計モードに戻ります。



D-4 気圧計モード：デフォルトの設定

■気圧計の初期化

気圧計をデフォルト状態にリセットする（初期化する）ことができます。デフォルトの状態では、現在気圧が 1015.2hPa に設定されています。

■気圧計の初期化方法

気圧計モードでCボタンを長押しすると画面右下に「HOLD」が点滅し、その後設定画面に移ります。

画面上部に「AIRP」と表示されているか確認してください。

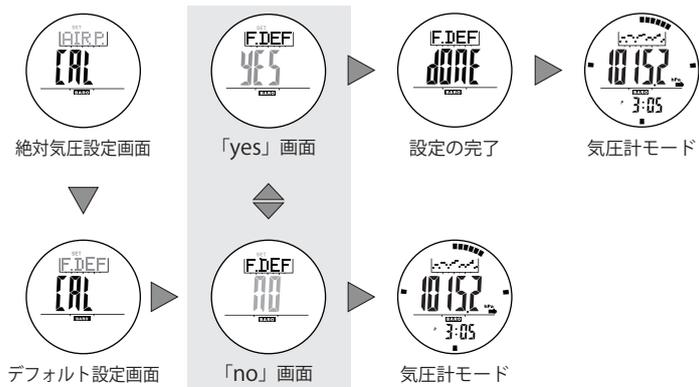
Cボタンを1回押し、画面上部に「F.DEF」と表示された状態にします。

Dボタンを押すと、画面に「no」と表示されます。

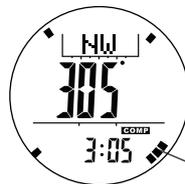
DボタンもしくはEボタンを押すと、「yes」（気圧計をデフォルトの状態にリセットする）または「no」（リセットを中止する）の選択ができます。

気圧計を初期化する場合、「yes」を選択して下さい。

「yes」を選択した状態でCボタンを長押しすると、設定が完了します。「dONE」という文字が表示され、気圧計モードに戻ります。



E-1 コンパスモード：画面の確認



■画面説明

上段：方位

中段：方角

下段：現在時刻

北の方角

方位と方角

コンパスモードでは方位と方角が表示されます。ここでの方角は、磁北を0°とし、対象物と自分との角度差を数値で表したものになります。

■アイドル状態

コンパスモードで1分間、何の操作もしなかった場合、自動的にアイドル状態になります。

いずれかのボタンを押すと、コンパスモードに戻ります。



アイドル状態

■ディストーション（歪み）について

ディストーションを検知した時は、画面上部に「OFF CAL」と表示され、方角が点滅します。

コンパスを正確な状態に戻すには、P28「コンパスの設定方法」を確認して下さい。



ディストーションを検知した画面

E-2 コンパスモード：使用上の注意

■コンパスの使用上の注意

この腕時計のコンパスは、方位磁石と同じように真北と磁北はわずかに異なります。詳しくはP26「磁気偏差について」をご確認下さい。

- コンパスの精度をより確実にするために、時々コンパスの設定を行って下さい（詳細はP28～）。
- コンパスの精度を保つため、下記の環境での使用は避けて下さい。
 - 磁気製品の近く
 - 金属製品の近く
 - 電気機器の近く
 - 乗り物や鉄筋コンクリートの建物の中
- 磁石や磁気を帯びるもの（携帯電話やスピーカー、パソコンなど）から離して保管して下さい。

E-3 コンパスモード：方位と方角

■対象の方向

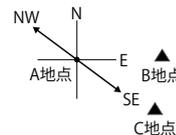
ある地点から見た対象物の方位、方角を測定することが可能です。この腕時計は方位と方角、両方の表示をすることができます。

■方位について

表示と方位の関係は、下の表を参照してください。

例えば右の図だと、A地点からB地点の方位は東になります。

A地点からC地点の方位は南東になります。



■方角（数値）について

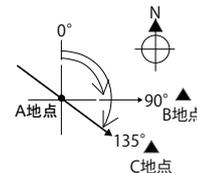
この腕時計では磁北を0°とし、対象物との角度差を数値で表します。

方角の表示は0°から359°まであります。

数値の詳細は下の表を参照してください。

例えば右の図だと、A地点からB地点の方角は90°になります。

A地点からC地点の方角は135°になります。



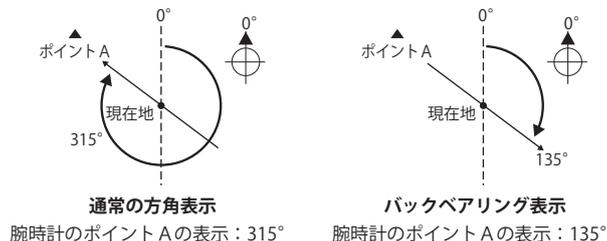
方位、方角の見方

| 画面表示 (上段) | 方位 | 方角 | 画面表示 (上段) | 方位 | 方角 |
|--------------|-----|-------------|--------------|-----|-------------|
| N | 北 | 349° - 11° | S | 南 | 169° - 191° |
| NNE | 北北東 | 12° - 33° | SSW | 南南西 | 192° - 213° |
| NE | 北東 | 34° - 56° | SW | 南西 | 214° - 236° |
| ENE | 東北東 | 57° - 78° | WSW | 西南西 | 237° - 258° |
| E | 東 | 79° - 101° | W | 西 | 259° - 281° |
| ESE | 東南東 | 102° - 123° | WNW | 西北西 | 282° - 303° |
| SE | 南東 | 124° - 146° | NW | 北西 | 304° - 326° |
| SSE | 南東南 | 147° - 168° | NNW | 北北西 | 327° - 348° |

E-4 コンパスモード：バックベアリングとコンパスロック

■バックベアリングについて

対象物から現在地の方向を表示する機能がバックベアリング機能です。この機能を使うことで、通常時の方向表示とは正反対の方向を表示することができます。



コンパスモード中にDボタンを押すと、バックベアリング表示になります。

画面左側に矢印が表示されていれば、バックベアリング表示です。

再度Dボタンを押すと、通常の方角表示に戻ります。



■コンパスロックについて

コンパスロックを使うと、磁北、方位、方角がロックされます。

じっくりと方位、方角を判断したい時に役に立ちます。

コンパスモード中にEボタンを押すと、コンパスがロックされます。

画面上部に「mO」が表示されていれば、ロックされた状態です。

再度Eボタンを押すと、ロックが解除されます。

1分間何も操作をせず、アイドル状態になると、ロックは解除されます。



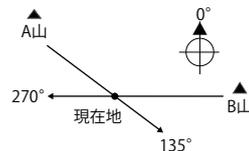
E-5 コンパスモード：コンパスの使用

■バックベアリングで自分の現在地を確認する

山や灯台など、目印になるもの2つから現在地を測定します。

例えば、右の図の場合、A山とB山から現在地を測定します。

右の図ではA山から135°、B山から270°の位置が現在地になります。

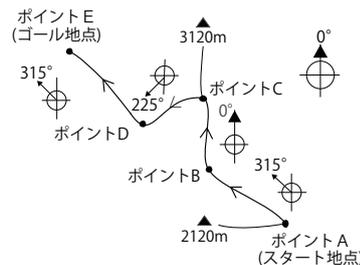


■事前に調べたコースを正確に歩く

コンパスモードを使用することで、トレッキングの際などにあらかじめ定めたコースを正確に歩くことができます。

例えば右の図のようにポイントAをスタート、Eをゴールと想定したコースを地図に書き込みます。

事前に、地図上に曲がった道の方角、分岐点を記載します。上の図ではポイントB～Dになります。



トレッキング中、ポイントAからBへ向かう角度が実際に315°か確認します。

他のポイントでも同様に確認することで、事前に想定したコース通りに歩くことができます。

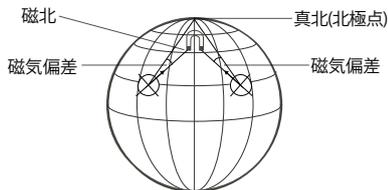
※ コースの方角やポイントに確信がない場合は、トレッキングのスタート前に管理事務所へ相談して下さい。

E-6 コンパスモード：磁気偏差について

■磁気偏差とは

方位磁石が示す北（磁北）と真北（北極点）は、わずかにずれています。

この腕時計も方位磁石と同じように磁北を示します。



磁北と真北との差異は、磁気偏差と呼ばれています。

都市ごとの磁気偏差については、下のリストをご覧ください。

この腕時計には磁気偏差を修正する機能がついています。詳細はP30「ディクリネーションの設定」を確認して下さい。

都市ごとの磁気偏差一覧

| 国・都市 | 代表都市 | 磁気偏差 | 国・都市 | 代表都市 | 磁気偏差 |
|----------------|--------------|------|----------------|----------------|------|
| Afghanistan | Kabul | +3E | Netherlands | Amsterdam | +0E |
| Australia | Canberra | +12E | New Zealand | Wellington | +22E |
| Austria | Vienna | +3E | Norway | Oslo | +2E |
| Bahrain | Manama | +2E | Pakistan | Islamabad | +2E |
| Bangladesh | Dhaka | +0E | Philippines | Manila | -1W |
| Belgium | Brussels | +0E | Portugal | Lisbon | -3W |
| Brazil | Brasilia | -21W | Russia | Moscow | +10E |
| Canada | Ottawa | -14W | Singapore | Singapore | +0E |
| Chile | Santiago | +3E | SouthAfrica | Cape Town | -24W |
| China | Beijing | -6W | Spain | Madrid | -2W |
| China | Hong Kong | -2W | Sweden | Stockholm | +5E |
| Costa Rica | San Jose | -1W | Switzerland | Bern | +1E |
| Cuba | Havana | -4W | Taiwan | Tai-pei | -4W |
| Czech Republic | Prague | +3E | Thailand | Bangkok | -1W |
| Denmark | Copenhagen | +3E | UAE | Abu Dhabi | +2E |
| Egypt | Cairo | +4E | United Kingdom | London | -2W |
| Finland | Helsinki | +8E | United States | Washington, DC | -11W |
| France | Paris | -1W | United States | Juneau | +22E |
| Germany | Berlin | +3E | United States | Phoenix | +11E |
| Greece | Athens | +4E | United States | Little Rock | +1E |
| Hungary | Budapest | +4E | United States | Sacramento | +14E |
| India | New Delhi | +1E | United States | Denver | +9E |
| Indonesia | Jakarta | +1E | United States | Atlanta | -4W |
| Israel | Jerusalem | +4E | United States | Honolulu | +10E |
| Italy | Rome | +2E | United States | Boston | -15W |
| Japan | Tokyo | -7W | United States | Saint Paul | +1E |
| Jordan | Amman | +4E | United States | Jackson | +0E |
| Kenya | Nairobi | +0E | United States | Santa Fe | +9E |
| Korea | Seoul | -8W | United States | Oklahoma City | +5E |
| Malaysia | Kuala Lumpur | +0E | United States | Salem | +16E |
| Mexico | Mexico City | +6E | United States | Harrisburg | -11W |
| Nepal | Kathmandu | +0E | United States | Salt Lake City | +12E |

E-7 コンパスモード：磁気偏差の計算方法

■磁気偏差の計算方法

対象物との角度修正のために、数値の加算や減算を行います。

磁気偏差の設定は、偏差のあるその地点で行って下さい（設定方法の詳細はP30）。

例1 磁気偏差が西偏 23°

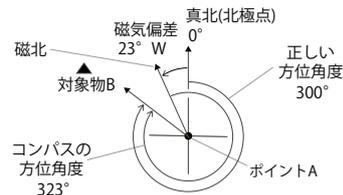
対象物が 323 度にある場合

方位角度 = 磁石の方位 - 磁気偏差

方位角度 = 323 - 23

方位角度 = 300°

正しい角度は 300° になります。



例2 磁気偏差が東偏 22°

対象物が 278 度にある場合

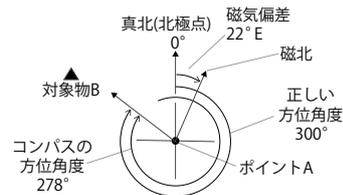
方位角度 = 磁石の方位 + 磁気偏差

方位角度 = 278 - 22

方位角度 = 278° + 22°

方位角度 = 300°

正しい角度は 300° になります。



E-8 コンパスモード：コンパスの設定方法

■コンパスの設定について

以下のような時にコンパスを設定します。

- 電池交換をした時
- コンパスモード使用時に方角が点滅し、画面上部に「OFF CAL」と表示された時
- コンパスの設定を行った場所から離れて使用する時
- コンパスの精度を維持したい時

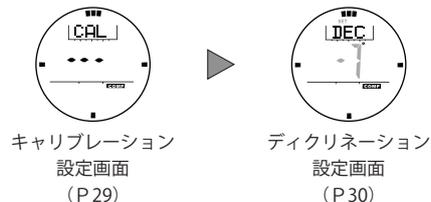
コンパスの設定方法は、キャリブレーションとディクリネーションの2通りがあります。より正確なコンパス精度を保つために、両方の設定を行うことをオススメします。

※もしコンパスの設定を行わなければ、コンパスの精度が悪くなります。

■コンパスの設定方法

コンパスモードでCボタンを長押しすると画面右下に「HOLD」が点滅し、コンパス設定画面に移ります。

Cボタンを押すたびに、下記の順番で項目が切り替わります。



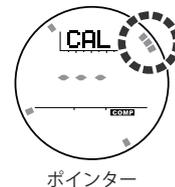
Cボタンを長押しするとコンパスモードに戻ります。

E-9 コンパスモード：キャリブレーションの設定

■キャリブレーションの設定方法

コンパスモードでCボタンを長押しすると画面右下に「HOLD」が点滅し、キャリブレーションモードに移ります。

Dボタンを押すとポインターが点滅しながら回転し、キャリブレーションが始まります。

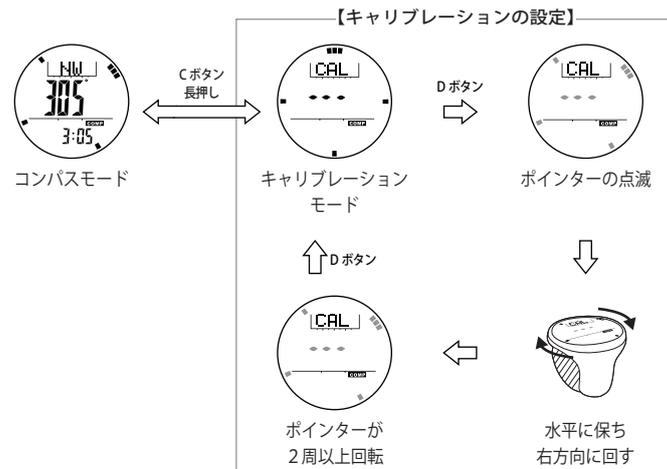


腕時計を水平に保ち、ポインターが2周回転する間に10回ほど右方向に回します。

ポインターが2周以上回転したら、DボタンもしくはEボタンを押し、キャリブレーションを完了します。

終了後、Cボタンを長押しするとコンパスモードに戻ります。

※1分以内に設定が完了しなかった場合、コンパスモードに自動的に戻ります。



E-10 コンパスモード：ディクリネーションの設定

■ディクリネーションの設定方法

P26の都市ごとの磁気偏差一覧を参考に、磁気偏差を確認して下さい。

コンパスモードでCボタンを長押しすると画面右下に「HOLD」が点滅し、コンパス設定画面に移ります。

画面上部に「CAL」と表示されているのを確認して下さい。

Cボタンを1回押し、画面上部に「DEC」と表示された状態にします。

画面中段に、設定されている磁気偏差が点滅します。

Dボタンを押すと数値が加算、Eボタンを押すと減算します。ボタンを長押しすると、数値を早く進めることができます。

現在位置に近い都市の磁気偏差を確認し、その数値を入力します。日本の場合は、「-7」に設定して下さい。

全ての設定が終了した後、Cボタンを長押しするとコンパスモードに戻ります。



キャリブレーション
設定画面

ディクリネーション
設定画面

コンパスモード

F-1 アラームモード：画面の確認



■画面説明

中段：アラーム設定時刻

下段：アラームのON/OFF

■アラームモードについて

アラームモードでは2つのアラーム（アラーム1、アラーム2）と、時報の設定ができます。アラーム1とアラーム2は、別々に作動させることができます。

■操作方法

アラームモードでDボタンを押すたびに、下記の順番で項目が切り替わります。



アラーム1

アラーム2

時報画面

アラーム1もしくはアラーム2を選択中にEボタンを押すと、アラームのON/OFFの切り替えができます。画面右下に「●」が表示されていれば、アラームがONの状態です。

時報画面を選択中にEボタンを押すと、時報のON/OFFの切り替えができます。画面左下に「▼」が表示されていれば、時報がONの状態です。

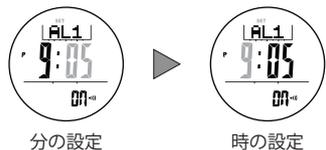
F-2 アラームモード：設定方法

■アラームの設定方法

アラーム 1 もしくはアラーム 2 を選択し、C ボタンを長押しすると画面右下に「HOLD」が点滅し、アラーム設定画面に移ります。

D ボタンを押すと数値が加算、E ボタンを押すと減算します。ボタンを長押しすると、数値を早く進めることができます。

C ボタンを押すたびに、下記の順番で項目が切り替わります。



全ての設定が終了した後、C ボタンを長押しするとアラームモードに戻ります。

※アラームの設定を行うと、自動的にアラームが ON になります。

※アラーム設定中に 1 分間何も操作を行わないと、自動的に時刻モードに切り替わります。

G-1 クロノグラフモード：画面の確認



■画面説明

中段：累計計測時間

下段：1/100 秒計

1/10 秒表示

■クロノグラフモードについて

クロノグラフモードでは、時間の計測とラップタイムの計測ができます。画面中段に 0:00:00 と表示されている場合、クロノグラフが使用されていない状態です。

■操作方法

クロノグラフが止まっている状態で、D ボタンを押すとクロノグラフの計測が始まります。

再度 D ボタンを押すとクロノグラフの計測がストップします。

上記を繰り返すことで累積時間の計測が可能です。

クロノグラフが止まっている状態で E ボタンを長押しすると、計測された時間、ラップタイムがリセットされます。

G-2 クロノグラフモード：ラップタイムの計測

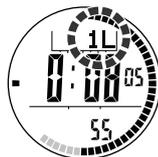
■ラップタイムの計測方法

ラップタイム計測では、経過時間を計測することができます。
この腕時計では 100 ラップタイムまで計測、記録することができます。

クロノグラフ計測中にEボタンを押すと、ラップタイムを記録することができます。

ラップ数とラップタイム は 10 秒間、画面に表示されます。

10 秒後、自動的に計測画面に戻ります。



ラップ数

■ラップタイムの確認方法

クロノグラフ停止中にCボタンを長押しすると、累計計測時間が表示されます。

Dボタンを押すと次のラップタイム、Eボタンを押すと前のラップタイムが表示されます。

Cボタンを長押しすると、クロノグラフモードに戻ります。



累計計測時間



ラップタイム

H-1 タイマーモード：画面の確認



■画面説明

中段：タイマー設定時間

下段：現在時刻

点滅表示

■カウントダウンタイマーについて

タイマーモードでは、設定した時間から 0 秒になるまでをカウントダウン方式で計測することができます。

カウントダウンの時間は、下記から選択できます。

1分、3分、5分、10分、15分、45分、ユーザー設定 ...

■操作方法

Eボタンを押し、タイマーの時間を選択します。

Dボタンを押すとタイマーがスタート/ストップします。

タイマー停止中にEボタンを押すと、タイマーがリセットされます。

Cボタンを長押しすると、タイマー設定画面に切り替わります。

■カウントダウンタイマーのアラーム音

残り 10 分を過ぎると、毎分毎に音が鳴ります。

残り 1 分を過ぎると、10 秒毎に音が鳴ります。

残り 5 秒を過ぎると、毎秒毎に音が鳴ります。

0 秒になると、30 秒間音が鳴ります。

いずれかのボタンを押すと音は止まります。

■ユーザー設定・時間の設定方法

タイマーモードでCボタンを長押しすると「HOLD」が点滅し、タイマー設定画面に移ります。

Dボタンを押すと数値が加算、Eボタンを押すと減算します。ボタンを長押しすると、数値を早く進めることができます。

Cボタンを押すたびに、下記の順番で項目が切り替わります。



全ての設定が終了した後、Cボタンを長押しするとタイマーモードに戻ります。

※ユーザー設定では最大 99 時間 59 分 59 秒まで設定可能です。

※設定中に 1 分間何も操作を行わないと、自動的にタイマーモードに戻ります。



■画面説明

中段：ステップカウンター

下段：1 分間に警報を鳴らす回数（この場合は 30 回）

■ペースメーカーモードについて

ペースメーカーモードでは、1 分間に警報を鳴らす回数を設定し、警報を鳴らすことができます。

例えば 1 分間に 120 回鳴らすように設定すると、0.5 秒に 1 回、警報が鳴ります。

また、ペースメーカーモードとクロノグラフモードを連動させることができます。時間を計測しながらペースを保つのに役立ちます。

■操作方法

Dボタンを押すとペースメーカーがスタート/ストップします。

ペースメーカー停止中にEボタンを長押しすると、ペースメーカーがリセットされます。

1-2 ペースメーカーモード：設定方法

■ペースメーカーの設定方法

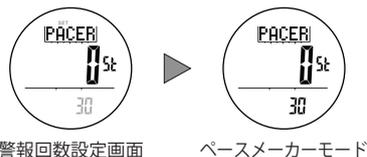
ペースメーカーモードでCボタンを長押しすると画面右下「HOLD」が点滅し、設定画面に移ります。

設定画面では、画面下段の警報を鳴らす回数（30～180回）が5回単位で設定できます。

Dボタンを押すと数値が加算、Eボタンを押すと減算します。ボタンを長押しすると、数値を早く進めることができます。

全ての設定が終了した後、Cボタンを長押しするとペースメーカーモードに戻ります。

※設定中に1分間何も操作を行わないと、自動的にペースメーカーモードに戻ります。



1-3 ペースメーカーモード：クロノグラフとの連動

■ペースメーカーとクロノグラフの連動方法

ペースメーカーをスタートした後にCボタンを4回押し、クロノグラフモードに移ります。

Dボタンを押しクロノグラフをスタートすると、ペースメーカーと併せて使うことが可能です。



J-1 デュアルタイムモード：画面の確認



■画面説明

中段：現在時刻

■デュアルタイムモードについて

デュアルタイムとは、現在地とは別の都市の時間を設定し、表示させる機能です。

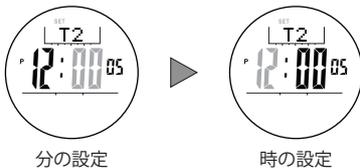
■設定方法

デュアルタイムでは「時」と「分」の設定ができます。秒は通常の時刻モードに同期します。

デュアルタイムモードでCボタンを長押しすると画面右下に「HOLD」が点滅し、デュアルタイム設定画面に移ります。

Dボタンを押すと数値が加算、Eボタンを押すと減算します。ボタンを長押しすると、数値を早く進めることができます。

Cボタンを押すたびに、下記の順番で項目が切り替わります。



分の設定

時の設定

全ての設定が終了した後、Cボタンを長押しするとデュアルタイムモードに戻ります。

※設定中に1分間何も操作を行わないと、自動的にデュアルタイムモードに戻ります。

K-1 パワーセーブ機能について

■パワーセーブ機能について

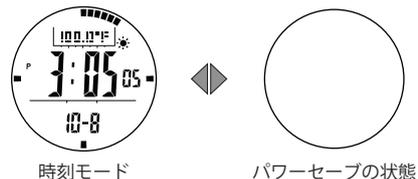
この腕時計は液晶画面の電力消費を抑えるため、パワーセーブ機能を搭載しております。

パワーセーブ機能の作動中も、時計や計測機能は正常に動作します。

■操作方法

時刻モード中にEボタンを5秒以上長押しすると、パワーセーブ機能が働き、画面の表示が消えます。

いずれかのボタンを押すとパワーセーブ機能が解除され、通常画面に戻ります。



時刻モード

パワーセーブの状態